

令和5年度 5歳児 「運動会リレー」

(令和5年度実践前修正箇所を斜体、
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 9月～10月

2. 設定の理由

3歳児は、自分達の遊び場の横で5歳児がリレーをしている様子遊びながら目にきてくる。4歳になると、5歳児がするリレーを憧れて見たり、ただ見ているだけにとどまらず、**旗を作った応援したり**、時には自分も入りたいとって好きな遊びの中でのリレーに仲間入りしたりする子どももいる。また、4歳の園庭にコースを作って**もらって**リレーごっこを楽しんだり、**自分達でもリレーをする**コースを**考えて作って**変えたり、距離を伸ばしたり、5歳児が運動会で走るコースを使ってクラス対抗リレーを試してみたりして繰り返し楽しんできている。また、**5歳児の1学期にも好きな遊びとしてリレーごっこを楽しみ、園庭のコースやチームの分かれ方などを自分達で考える姿もあった。**走ることに限らず、ボールをたくさんついたり的に投げたり、縄跳びの前跳びや走り跳びをしたりするなど、遊具を使った技ができるようになりたいと思って何度も挑戦する姿も見られてきている。

5歳児になると、いよいよ**自分達が**運動会でリレー**を**ができることを**喜び、ほとんどの子どもが運動会で走るコースを使ってリレーをする**ことを楽しみにしている。4歳児や他のクラスの教師の応援も受け、自分達でより速く走れるように練習したり、一生懸命走っていない友達やいい**かげん**加減なバトンの渡し方をしてくる友達を許さなかったりし、勝ち負けにこだわり、勝てるようにするにはどうしたらよいかを考えてクラスの友達と一緒に心と力を合わせて取り組むようになっていく。また、ボールや縄ではより難しい技に挑戦したり、さらにし慣れることで**コツをつかんでスムーズに技を自分のもの**にしたりするようになっていく。そのような技の要素をリレーに取り入れることで、身体能力に左右されやすい走力だけでなく、技を磨くことで勝負できる活動の幅を広げ、より一層技の練習に励んだり、**コツを**考えたり伝え合ったり、走る**こと以外**の友達の**素敵**なところ**に気付いたり**することができるようになる。さらに、子どもと相談しながら取り入れることで、自分達で考えて遊びを作っていくことができるようになる。その過程で、条件を公平にするためにルールが必要なことを、ルールのある遊びを体験して学んでいき、必要なルールを決めていこうとしたり、必要があって納得して決めたルールを進んで守ろうとするようになっていたりしていく。また、条件を公平にするために人数を揃えることが必要になり、自分達の生活の中で必然的に数・量に関する学びも期待することができる。

繰り返し取り組む中で、1回でも勝つ喜びが味わえるように、**あきらめず**に取り組みようとする子どもの気持ちを支えていきたい。そのためには、走ることが速くなったり、**技が上達したり**してきていること**や自分の頑張りを**自覚できるように、**以前との変化やそれに向けた努力の姿を具体的に知らせながら、何度も走ってさらに練習しようと思えるように**、そして、その気持ちがクラスの子どもの中に広がり、一緒にみんな頑張ろうと思えるように気持ちを盛り上げていきたい。

3. ねらい

- ① 速く走りたい前よりも速く走れるようになりたい、ボールや縄、**フープ**の技を上達させたい、バトンを落とさないようにしたい、勝ちたい、抜かしたい、抜かされたくない、こげないようにカーブを走るなど、自分の目標に向けて何度も練習したり、最後まで全力を出したりしようとする。
自ら決める・選ぶ
問題を認識する
- ② この役割をしようと思って決めたり、その役割が果たしているか確認したり、縄が絡まることや縄を真っ直ぐ置くことに難しさを感じながらも、何度もやり直して最後までやり遂げようとしていたりする。
自ら決める・選ぶ
- ② 前よりも速く走れた、勝った、ボールや縄、**フープ**の技が上達した、抜かした、抜かされなかったなど、自分の目標を達成したり、それに近付いたことや目標に向けて一生懸命頑張ったこと、また年長になったことを自覚し、自分達で準備や片付けを進めていることや、最初難しさを感じていたことができるようになったりした
自分に満足する
自分を客観的に把握する

- ことを感じて自信をもつ。
- ③ 友達と一緒に頑張ったり励まし合ったりする 友達がいるよき嬉しさを感じたり、勝ったことを 友達と一緒に 喜んだりする。 他者という喜びを感じる
- ④ 友達の頑張りや 工夫、足の速さ 素敵なところに気付いたり 認めたり、友達の表情や動き、話、その状況から、気持ちやその気持ちになった理由を考えたり、知ったりしようとする。 他者のことを知る
- ⑤ 速く走るために、勝負に勝つために、一緒に考えたり、自分の知っていることを友達に教えたり、一緒に走る練習したり、頑張っている友達を応援したり、友達と作戦を考えたり決めたりする。 人とものごとをすすめる
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑥ 公平にする皆が納得して遊ぶために、必要を感じてチームの人数を同じにする ことや、どんなコースにするのかの内容などの遊び方やルールを、みんなが同じルールであることの必要性を感じ、友達と一緒にルールを考えたり決めたりしようとする。 人とものごとをすすめる
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑦ 友達と一緒に準備や片付けをするために、自分ができるところをしようしたり、声を掛け合ってやり方を考えたり確認したりして、決めた役割を責任もってしようとする。 人とものごとをすすめる
- ⑧ 力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感を感じたり、コーナーを曲がる時に外側に 広がってしまいうりにくさを感じる感覚、続けてボールを受けて突き出す感覚、縄を回すのに合わせて跳ぶ感覚、フープの動きを感じて体でフープを押し出す感覚など、走ったりボールを使ったり縄を使ったりすることで感じる様々な感覚を感じ、走りやすくなるように、身体を傾けたり、バランスを取るために、速さを緩めたりする。 身体を操作する
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑨ どのようにしたら速く走れたり、上手くボールがつけたり、縄が跳べたり、フープを回せたりするのかを考えたり、コースを走ったり、ボールのつき方や縄の回し方や跳び方、フープを回す際の体の動かし方を変えたりして試したり、走ったりボールをついたり縄を跳んだりフープを回したりするのが速い得意な友達の走りや動きを見たりして、腕を大きく速く振ったり足を大きく動かしたりして速く走るコツをつかんだり体で覚えたりしようとする。 身体を操作する
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑩ ボールがつく場所やつき方によって弾み方が変わることや、縄やフープが回す速さや回し方によって様子が変わること、コーナーを分かりやすくするためにコーンは離れても見やすいことを使うよさを感じたり、長縄のほどきにくさを感じて結び目をよく見ながら引っ張る部分を考えたり、結びにくさを感じて、端と端を合わせたり、たるみがないように合わせてから結んだりするなど、道具の特徴や様子の変化の面白さや不思議さを感じ、扱い方に慣れながら準備や片付けをしようとする。 事物・現象をとらえる
- ⑪ チームの人数を揃えるために、数えたり、並んで対応させて数え比べたりしようとして、差を感じたり、足りない人数を埋めるには2回走る人がいればいいと感じ 人を増減させたり一人が走る回数を増やしたりなどして調整したりしようとする。 数・量をとらえる
比較する
- ⑫ 競争したり、友達が競争しているのを見たりして、相手との距離が縮まったり広がったりしたことを感じたり、そのことから、速さの違いを感じたりする。 数・量をとらえる
- ⑬ 隣との距離を考えてコーンを置いたり、等間隔に置いているか確認したり、距離が近かったり離れたりにしていることを感じて やり直し置く位置を調節したり戦況を感じたりする。 空間をとらえる
問題を認識する
実行し、その結果をもとに判断を下す
- ⑭ 走っている人が見やすいように、並ぶ位置や向きを考え整えたり、これから走る 場や状況を整える
問題を認識する

人と走り終えた人が分かりやすいように、待つ場所を設定したりするなど、必要に 実行し、その結果をもとに判断を下す
 応じて遊びがしやすいように場を整えようとする。

4. 展開

| | | |
|---|--|---|
| <p>リレーをすることを楽しみにしたり、リレーを楽しんだりする</p> | <p>A【リレーをする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コースを走る ・勝つことを喜んだり負けることを悔しがったりする ・速く走れるように<u>練習し何度も走ったり、コースを試したり、</u>友達と競争したりする ・ボールや縄、<u>フープ</u>の技が上手くなるように、何度も挑戦したり、コツを感じたり見聞きして取り入れたりする ・速く走れるように走り方を考えたり教え合ったりやって見せたり取り入れたりする ・対決することを楽しむ ・勝負に勝つためにチームとして工夫できることを考えたり意識したりする | <p>B【チームやコースを決めたり、必要なルールを考えたりする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム分けの方法を考えたり決めたりする ・走る順番を決める ・必要なルールを考えたり決めたりする ・より面白く公平なコースを考えたり試したりして決める ・必要に応じて用具を置いたり場を設定したりする |
|  | <p>より速く走ったり上達したりするよう何度も挑戦したりコツを考えたり、自分達のチームが勝てることを願って作戦を考えたり繰り返して練習したり、より面白くなるようにコースを考えたりする</p> | <p>C【リレーの準備をしたり、道具を片付けたりする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたい準備や片付けをする。 (コーンを<u>等間隔に</u>並べる、<u>友達と一緒に縄を結ぶ</u>ボールや縄、<u>フープ</u>を置く、片付ける) ・自分の担当場所を決める ・<u>リレーの準備をしたり道具をや片付けたりする</u>の役割を果たす |

| A【リレーをする】 | | |
|--|---|---|
| 予想される子どもの活動 | ねらい | *環境の構成 ◎教師の援助 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・コースを走る ・勝つことを喜んだり負けることを悔しがったりする ・速く走れるように<u>練習し何度も走ったり、コースを試したり、</u>友達と競争したりする ・<u>ボールや縄、フープ</u>の技が上手くなるように、何度も挑戦したり、コツを感じたり見聞きして取 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ <u>速く走りたい</u>前よりも速く走れるようになりたい、<u>ボールや縄、フープ</u>の技を上達させたい、バトンを落とさないようにしたい、勝ちたい、<u>抜かしたい、抜かされたくない、こけないようにカーブを走る</u>、など、自分の目標に向けて何度も練習したり、最後まで全力を出したりしようとする。① ◎ <u>前よりも速く走れた、勝った、ボールや縄、フープ</u>の技が上達した、<u>抜かした、抜かされなかった</u>など、自分の目標を達成したり、それに近付いたことや目標に向けて一生懸命頑張ったりしたことに満足する。②③ | <ul style="list-style-type: none"> ◎一人一人の子どもが、具体的な目標を意識できるように、<u>勝負に挑む気持ちを尋ねる</u>などして勝つという気持ちを盛り上げ、勝つためには<u>何に気を付けたらいいの</u>どうすればよいか<u>考えさせたり、</u>自分は<u>どうなりたい</u>と<u>思っているのかを聞いたり</u>尋ねる。 ◎繰り返して練習することを<u>楽しめる</u>ように、教師も一緒に走ったり<u>技に挑戦したり、走っている練習する姿を応援</u>したりする。 ◎最後まで<u>全力で取り組もうと思える</u>ように、<u>応援したり励ましたり、目標を振り返る声</u>をかけた ◎自分の目標に向けて頑張ったことに満足できるように、以前と比べて、速く走れたり、<u>友達を抜かしたり、いつも抜かされている友達に抜かされなかったり、バトンを落とさずに渡せたり、バトンをもらいやすいように、走っている仲間を見て内側に行くか外側に行くか考えて動いていたり</u>など、一人一人の子どもが<u>頑張っている</u>上手くついたり跳べたり、そうなるために工夫したり意識したり努力したりしていることを具 |

り入れたりする

- ・速く走れるように走り方を考えたり教え合ったりやって見せたり取り入れたりする
- ・対決することを楽しむ
- ・勝負に勝つためにチームとして工夫できることを考えたり意識したりする

○友達と一緒に頑張ったり励まし合ったりする友達がいるよき嬉しさを感じたり、勝ったことを友達と一緒に喜んだりする。④③

○友達の頑張りや工夫、足の速さ素敵なところに気付いたり認めたり、友達の表情や動き、話、その状況から、気持ちやその気持ちになった理由を考えたり、知ったりしようとする。⑤④

○速く走るために、勝負に勝つために、一緒に考えたり、自分の知っていることを友達に教えたり、一緒に走り練習したり、頑張っている友達を応援したり、友達と作戦を考えたり決めたり、勝ったことを一緒に喜んだりする。④⑤

○力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感を感じたり、コーナーを曲がる時に外側に広がってしまったり走りにくさを感じる感覚、続けてボールを受けて突き出す感覚、縄を回すのに合わせて跳ぶ感覚、フープの動きを感じて体でフープを押し出す感覚など、走ったりボールを使ったり縄を使ったりすることで感じる様々な感覚を感じ、走りやすくなるように、身体を傾けたり、バランスを取るために、速さを緩めたりする。④⑧

○どのようにしたら速く走れたり、上手くボールがつけたり、縄が跳べたり、フープを回せたりするのかを考えたり、コースを走った

体的に褒める。また、自分で頑張ったと思っていると聞いて受け止める。

○友達と一緒に頑張る仲間がいたり励まし合ったりするよき嬉しさを感じられるように、一緒に練習したり応援してくれたり教えてくれたりする友達の存在についてふれたり、友達が嬉しさを言葉にしたり、支え合う心地よさを言葉にして一緒に喜んだりする。

○クラスの友達みんなと勝つ喜びを味わえるように、勝った時には一緒に喜んだり、負けた時には悔しい気持ちに共感したり、次に勝てるよう励ましたりする。

○友達の頑張りや個性工夫、素敵なところ、気持ちや考えに気付いたり認めたり、その気持ちになった理由を考えたり知ったりしようとする感じられるように、友達の走る頑張っている姿や話していることを紹介したりそれを見聞きするに注目できるように知らせたり、場や時間を作ったりする。

○勝負に勝つためにみんなが速く走ろうと一緒に取り組めるように、速く走る勝つために自分が考えていることや、速く走るためのコツを教えている姿を褒めたり他児に紹介したり、伝え合う時間をもったりする。

○みんなで勝とうと心を合わせて取り組めるように、一緒に走って練習したり頑張っている友達を応援したりする良さを伝えたり、どんな作戦にするか投げかけたり、その姿を知らせたり、教師も一緒にしたりする。

*力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感、コーナーを曲がる時に外側に広がる感覚などを感じられるように、十分に走るために必要で満足できる距離を確保したり、90度以上のカーブを設定したりしてコースを用意する。

*手で続けてボールを受けて突き出す感覚や縄を回すのに合わせて跳ぶ感覚、フープの動きを感じて体でフープを押し出す感覚などを感ぜられるように、ボールをついたり縄を回して跳んだりフープを回したりすることを子どもと試しながらコースに設定したり、何度も挑戦する機会を設けたりする。

○コーナーを走る時のよい方法をいろいろ試してその違いを感じられるように、コーナーを走る時に感じることを尋ねたり、どうすれば走りやすいか感じたり考えたりしていることを尋ねたり、友達の考えを聞かせたりする。

| | | |
|--|---|---|
| | <p>り、ボールのつき方を変えたり、縄の回し方や跳び方を変えたりして試したり、走ったりボールをついたり縄を跳んだりするのが速い得意な友達の走り方動きを見たりして、腕を大きく速く振ったり足を大きく動かしたりして速く走るコツをつかんだり体で覚えたりしようとする。㉔㉕</p> <p>○ボールがつく場所やつき方によって弾み方が変わることや、縄やフープが回す速さや回し方によって様子が変わることなど、道具の特徴や様子の変化の面白さや不思議さを感じる。㉖</p> <p>○競争したり、友達が競争しているのを見たりして、相手との距離が縮まったり広がったりしたことを感じたり、そのことから、速さの違いを感じたりする。㉗㉘</p> <p>○走っている人が見やすいように、並ぶ位置や向きを考え整えたり、これから走る人と走り終えた人が分かりやすいように、待ち場所を設定したりするなど、必要に応じて遊びがしやすいように場を整えようとする。㉙</p> | <p>*走りながら、コースを回る時の様々な感覚を味わったり、コースに合わせて動き方を様々な調整したりしようとするように、様々なコースがあるコースを使ったり、コースを選べるようにしたりする。</p> <p>◎速く走ったりボールをついたり縄を跳んだりフープを回したりするためのコツが分かを感じたり、体で覚えたりするように、友達のが感じたコツを開かせ尋ねたり、走ってコツを意識している様子を見せたり、走っている時に、具体的に何に気を付ければいいのか声をかけたりする。</p> <p>*速く走る動きのコツをいろいろ試したり、感じながら何度も練習したりできるように、クラスでの試す時間もとる。</p> <p>*ボールのつく場所やつき方による弾み方の違いを感じられるように、芝生や土、マットなど、異なる場をコース上に設定したり、つき方を言葉にしたりつき方を変えることを提案したり、それによる違いを尋ねたりする。</p> <p>◎縄やフープの回す速さや回し方によって様子が変わることを感じられるように、回す速さや回し方の違いや教師が感じた縄の様子を言葉にしたり、他児が回している姿を紹介して一緒に見たりする。</p> <p>◎いろいろな友達の走る速さを感じられるように、様々な場所で、競争する機会をつくったり、繰り返し走ろうと思えるよう教師も一緒に走って雰囲気盛り上げ友達の走る様子を見る機会を設けたり、速さや距離の変化について尋ねたり、教師が感じたことを言葉にしたりする。</p> <p>*友達の走っている様子がよく見えるように、友達を見たり応援したりする時には、コースに平行に並ぶ場所を設定したり、座って応援すると見やすいことに気付かせたりする。</p> <p>○必要に応じて遊びがしやすいように場を整えようとするように、不都合を感じているが言葉にしたり改善に向けた行動に移さない場合は、不都合はないか尋ねたり、教師が推察した子どもにとっての不都合を言葉にして尋ねたり、どうすると遊びやすくなるか問いかけたりする。</p> |
|--|---|---|

| B【チームやコースを決めたり、必要なルールを考えたりする】 | | |
|---|--|---|
| 予想される子どもの活動 | ねらい | *環境の構成 ◎教師の援助 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・チーム分けの方法を考えたり決めたりする ・走る順番を決 | <p>○公平にする皆が納得して遊ぶために、必要を感じてチームの人数を同じにすることや、どんなコースにするのかの内容などの</p> | <p>*必要を感じて友達と一緒にルールを考えたり決めたりしようとするように、おかしいと思ったことを出し合い、いろいろな考えを聞いたり、考えたことを実際にやってみたりして、みんなが納得する解決方法を見つけたことを一緒に喜</p> |

| | | |
|--|--|--|
| <p>める</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要なルールを考えたり決めたりする より面白く公平なコースを考えたり試したりして決める 必要に応じて用具を置いたり場を設定したりする | <p>遊び方やルールを、みんなが同じルールですることの必要性を感じ、友達と一緒にルールを考えたり決めたりしようとする。㊦</p> <p>㊦</p> <p>○チームの人数を揃えるために、数えたり、並んで対峙させて数え比べたりしようとしたり、差を感じたり、足りない人数を埋めるには2回走る人がいればいいと感じ人を増減させたり一人が走る回数を増やしたりなどして調整したりしようとする。㊦㊩</p> | <p>び、みんなが納得する解決方法を見付け出すよさを感じさせられる機会を設ける。</p> <p>○遊びの必要から数を数えたり揃えたり差を感じたり足りない人数を埋めたりして調整しようとしたりできるように、人数が違うことで勝負の結果が左右されることを感じさせ状況を見守ったり、子ども達が数えたり揃えたりするために考えていることを尋ねたり、していることを言葉にしたり、考えていることを一緒にしてみたりする。</p> |
|--|--|--|

| C【リレーの準備をしたり、道具を片付けたりする】 | | |
|---|--|--|
| 予想される子どもの活動 | ねらい | *環境の構成 ㊦教師の援助 |
| <ul style="list-style-type: none"> 自分のしたい準備や片付けをする。(コーンを等間隔に並べる、コーンを片付ける、友達と一緒に縄を結ぶゴールや縄、フープを置く) 自分の担当場所を決める リレーの準備をしったり道具をや片付けたりするの役割を果たす | <p>○この役割をしようと思って決めたり、その役割が果たしているか確認したり、縄が絡まることや縄を真っ直ぐ置くことに難しさを感じながらも、何度もやり直して最後までやり遂げようとしたりする㊦</p> <p>○年長になったことを自覚し、自分達で準備や片付けを進めていることや、最初難しさを感じていたことができるようになったことを感じて自信をもつ㊦㊦</p> <p>○友達と一緒に準備や片付けをするために、自分ができることをしようとしたり、声を掛け合ったりやり方を考えたり確認したりして決めた役割を責任もってしようとする㊦㊦</p> <p>○コーナーを分かりやすくするためにコーンは離れても見やすいことを使うよさを感じたり、長縄のほどきにくさを感じて結び目をよく見ながら引っ張る部分を考えたり、結びにくさを感じて、端と端を合わせた</p> | <p>○いろいろな役割の中から自分のしたい役割を決めて、最後までやり遂げようとするように、それぞれが準備と片付けを一度は経験する機会を作ったり、最後までやり遂げようとする姿を褒めたり、応援したりする。</p> <p>○年長になったことやできるようになったことを自覚して自信をもてるように、年長だからこそ自分達で準備や片付けができることを伝えたり進めてきたことや、難しさを感じていたことができるようになっていたことを言葉にしたり一緒に喜んだりする。</p> <p>○自分達で競技の準備や片付けをするために、できることを見付けてしようとしたり、決めた役割を責任を持ってしようとするように、困っている友達がいることを知らせ役割を決める際に必要を感じていたり納得したりしているか確かめたり、最後まで責任をもちてやっている姿をみんなので応援しながら待ったり、それぞれの役割を思い出せるように画用紙に書き掲示しておいたりする。</p> <p>○道具の特徴や様子の変化を感じて使ったり、扱い方を知ったり慣れたりすられるように、角をショートカットしてしまう問題をあげて対策を一緒に考えたり、走道具を使ってどうか尋ねたり、扱いに慣れている友達の姿を見せ紹介して何が様子の違うか、何がポイントかいを尋ねたり、一緒に考え気付きを出し合ったり、友達がしているところを見ながら具体的に言葉にして伝えたり何度も挑戦できる機会を作</p> |

| | |
|--|---|
| <p>り、たるみがないように合わせてから結んだりするなど、道具の特徴や様子の変化の面白さや不思議さを感じ、扱い方に慣れながら準備や片付けをしようとする。④⑩</p> <p>○隣との距離を考えてコーンを置いたり、等間隔に置いているか確認したり、距離が近かったり離れたりしていることを感じてやり直し置く位置を調節したり戦況を感じたりする。④⑬</p> <p>○並んだり走ったりする位置が分かりやすいようにコーンを置くなど、必要に応じて遊びがしやすいように場を整えようとする。④</p> | <p>ったりする。</p> <p>◎隣との距離や等間隔になることを意識してコーンを置いたり、縄が直線になっているか確認して縄を置く位置を調整したりするよう、目印になるコーンの位置を決めたり、少し離れて間隔をみ見ることを勧めたり、どのくらいの距離なのか歩幅で確認して見みせたり、直線にするために縄の前後で位置を確認する方法を見せたりする。</p> <p>*必要に応じて場を整えられるように、複数の大きさや色のコーンや縄などをいつでも持ち出せる場所に置いておく。</p> <p>◎必要に応じて遊びがしやすいように場を整えようとするように、不都合を感じているが言葉にしたり改善に向けた行動に移さない場合は、不都合はないか尋ねたり、教師が推察した子どもにとっての不都合を言葉にして尋ねたり、どうすると遊びやすくなるか問いかけたりする。</p> |
|--|---|